

みんなで
出かけよう

ぐるっとNAVI ~上十三・十和田湖広域定住自立圏情報~



上十三・十和田湖広域定住自立圏圏域のイベント情報をお届けします♪

三沢市

みさわおもちゃ病院

壊れたおもちゃを、子どもたちの前で修理します。

- ▶とき 2月26日(日)
午前10時～正午
- ▶ところ 三沢航空科学館
- ▶部品代 50円～300円
- ▶預かり修理代 100円/1件
- 問三沢航空科学館 ☎⑤7777

バレンタイン・ペンジュラム 占い体験

神秘のパワーストーンペンジュラムで占ってみましょう。

- ▶とき 2月12日(日)
午前9時30分～11時
正午～午後1時30分
- ▶ところ 三沢航空科学館
- ▶定員 100人
- 問三沢航空科学館 ☎⑤7777

野辺地町

のへじ停車場ランタンまつり

- ▶とき 2月4日(土)
午後1時～8時30分
- ▶ところ 野辺地町観光物産PRセンター
- 問のへじ停車場まつり
実行委員会事務局
エーワン・ライズ
☎0175④3511



東北町

第11回東北町郷土芸能発表会

- ▶とき 2月19日(日) 午前10時～
- ▶ところ 東北町コミュニティーセンター未来館
- 問東北町社会教育課 ☎⑤5598

おいらせ町

百石えんぶり

上北郡内唯一のえんぶりが、春を告げ五穀豊穡を祈ります。

- ▶とき・ところ
- 2月15日(水) 午前9時30分～
若宮八幡宮奉納摺り、町内門付け
- 2月16日(木) 午前9時～
町内門付け
- 2月17日(金) 午前10時30分～
八戸えんぶり一斉摺り出演
- 問おいらせ町社会教育・体育課
☎0178②0405



十和田八幡平国立公園十和田八甲田地域指定80周年

受け継がれる歴史 十和田湖・八甲田 vol.5



「十和田神社と南祖坊」

伝説では南祖坊は、関白藤原是実の嫡男是行の子として三戸郡名川町斗賀村（現南部町）で生まれました。才知優れ、同郡七崎村（現八戸市豊崎町）永福寺の弟子となり学問を教わりましたが、12歳の時すでに師をしのいだといわれ、その後岩城（現いわき市）の常福寺に移り名僧と仰がれた後、修業の旅で60余州を回り、紀州熊野山で神のお告げを受けました。苦行を重ね68歳の時、斗賀村の十和田神社で座禅。お告げに従って下山し、錫杖をついて十和田湖へ行き、八郎太郎と戦ったといいます。



十和田神社の旧参道



十和田神社

ホテル十和田荘前から十和田神社までの両側舗装道路の真中には、杉並木が続く旧参道があります。江戸時代の紀行家菅江真澄は1807年にこの地を訪れ、「杉が群れ立ったところにある数々の鳥居から入り、並び立つ杉の下路を通っていくと堂がある」と十和田神社を紀行文に書いています。当時この地は山岳霊場として十和田信仰の参詣人で賑わい、「休屋」という地名も参詣人が泊まる所として名づけられました。この参道と現在の参道を抜けると、重厚な拜殿が見えてきます。十和田神社は現在、日本武尊を祀っていますが、江戸時代までは十和田信仰の中心地として青龍大権現を祀り、北東北地域に広く分布する水神信仰の象徴となり、十和田山青龍大権現と呼ばれていました。

十和田湖には熊野山で修業した南祖坊が、湖の主であった八郎太郎との争いに勝ち、新たな主となったという伝説があります。神社裏側にある崖の鉄のはしご（現在通行止め）を降りた所に、南祖坊入水の場と伝えられる占場があり、吉凶を占う場として、信仰を集めました。

お金や米を白紙にひねったものや、宮司が神前に供えて祈念した「おより」を湖に投げ入れると、願いが叶うときには水底に引き込まれるように沈み、叶わないときには重いものでも浮いたまま波にさらわれ、沖に流されるといわれています。

〔参考〕青森県文化観光推進課（看板）、森田五成著「十和田国立公園」